



●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品は、複層ガラスを使用した場合製品重量が最大30kgとなります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
 - ・指定のスクリーナ釘・木ねじで枠を固定してください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

■取付け上のお願い

- 本製品を取付ける際、窓は必ず全閉にしてください。
- 本製品を開口部に固定する場合、窓の水平・垂直・対角・ねじれなどがないようにしてください。これらの調整などができていない場合は、開閉動作が重くなったり、ロックの掛りが悪くなる可能性があります。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたりねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

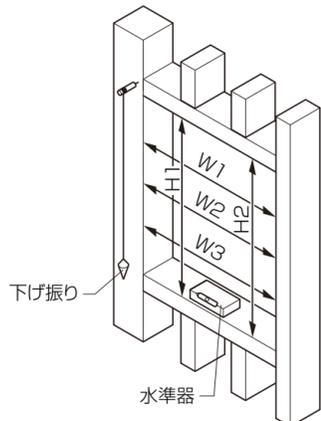
■取付けねじ一覧表

| | |
|-------------------|-----------------|
| ① | ② |
| | |
| スクリーナ釘 φ2.1×32 | 皿木ねじ φ3.1×20 |

■取付け順序

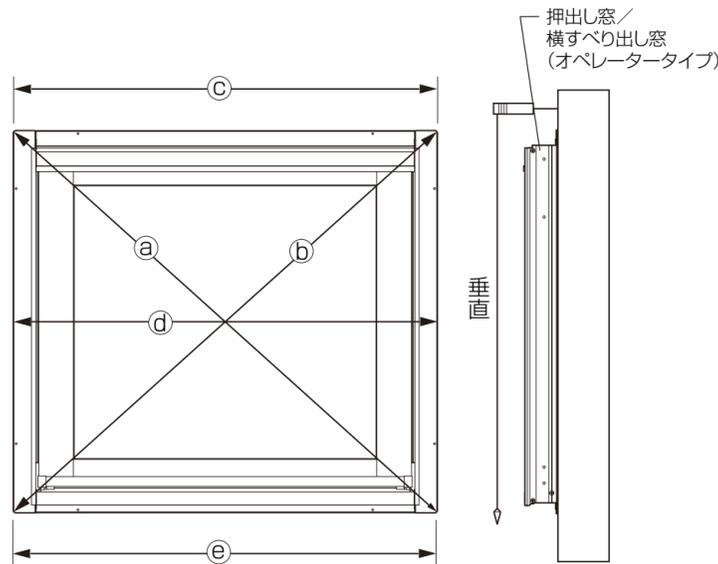
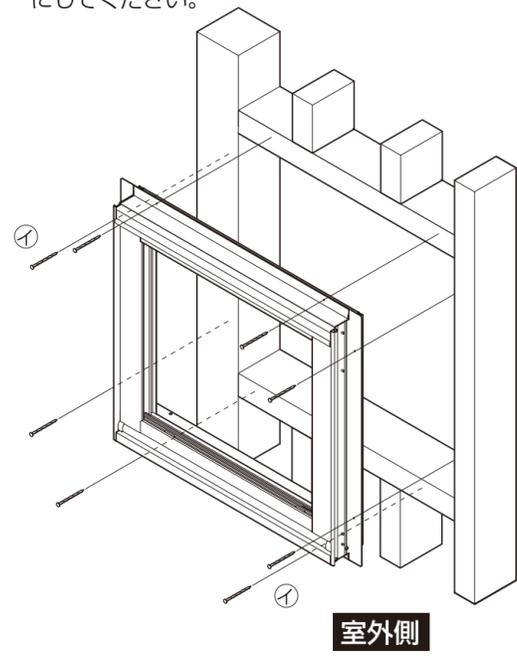
1 開口部の確認

- 開口部の水平・垂直が出ていることを確認してください。(障子の開閉に支障がでます。)
- 開口寸法を確認してください。
 - 開口幅 = サッシ基本寸法(W) + 10mm
 - 開口高さ = サッシ基本寸法(H) + 5mm
 ※サッシ基本寸法はカタログをご覧ください。
- 図の(W1・W2・W3)及び(H1・H2)に差がある場合は、仮固定の際にかい物で調整してください。(ハンドル操作に支障がでます。)



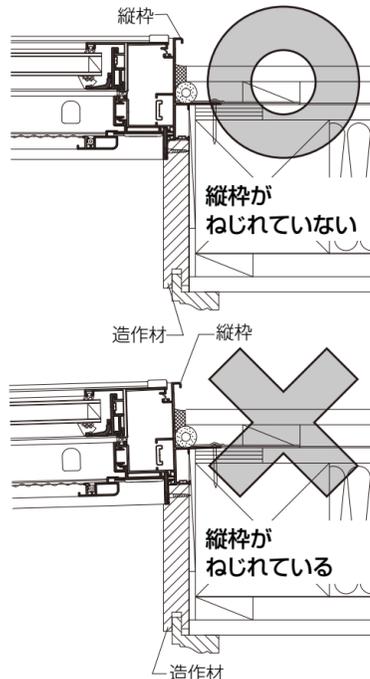
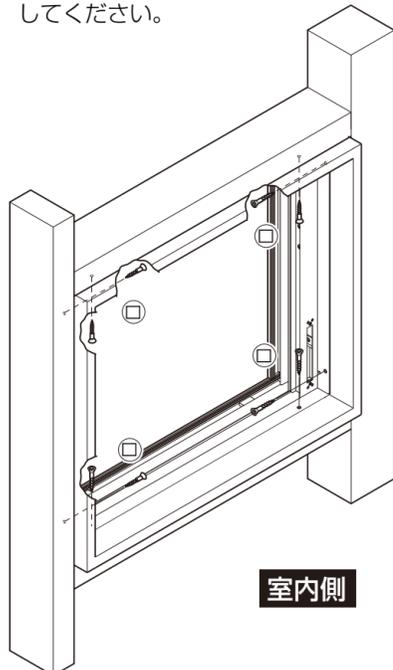
2 本体の仮取付け

- ①サッシ枠直角を出しながら仮止めします。
 - ②サッシ枠の水平・垂直・対角・ねじれなどがないようにしてください。
- ※下図寸法を③=④、⑤=⑥=⑦となるように必ず調整してください。



3 本体の固定

- 造作材を取付けた後、窓内側から皿木ねじで固定します。
- ※このとき、縦枠にねじれが発生すると開閉作動に支障をきたしますので十分注意してください。

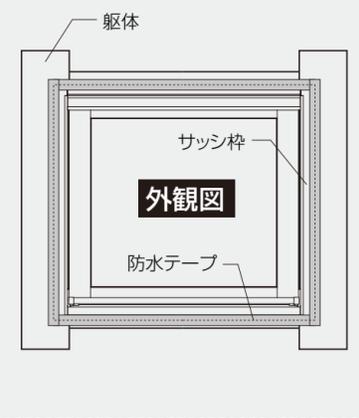


▲注意

- 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

▲注意

- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



4 ロック調整方法(オペレーター・ガラス取付け後)

- 障子の引き寄せがあまり場合は、框に付いている左右のロックを下図の要領で調整してください。

■ロックピンC

